

授業改善推進プラン 中学1年生

	各教科の課題	課題に対する具体的な授業改善策	評価
国語	①漢字・語句・文法事項における基礎の定着を図る。 ②自分の感情や考えを筋道立てて適切に表現する力を育成する。	①漢字練習ノートで漢字の読み書きを練習させる。文法事項は基礎的・応用的な問題を繰り返し学習する。 ②感想文や作文で表現する機会を多く取り入れ、指導を通して表現力を養う。	【評価】
社会	①社会科的知識の定着を図る。 ②資料の読解力の向上を図る。	①問題演習や復習テストを繰り返し取り組むことで、社会科的知識の定着を図る。 ②資料活用の演習問題に取り組む場を増やすことで、社会科的な資料読解力の向上を図る。	【評価】
数学	①基本的な計算技能を高める。 ②課題把握し、式で表す力を高める。	①早く正確な計算技能、複雑な計算を行う技能など、個に依りて対応する。 ②文章題や数量を文字で表す課題を多く行い、定着を図る。	【評価】
理科	①科学的な思考力と表現力の育成。	①実験の結果の見取り方、比較検討の方法を質問形式で行う。 ①学習単元と身の回りの生活とのつながりを考えさせる活動を行う。	【評価】
音楽	①基礎的な演奏技能の習得。 ②読譜能力の向上。	①歌う姿勢（器楽演奏する姿勢）を示し、それぞれの演奏課題に応じて個別に指導を行う。 ②授業で用いた楽譜を通して、基礎的な用語や音符の名称についての発問を設定する。	【評価】
美術	①授業規律を定着させる。 ②言語活動を充実させる。	①場に応じた挙手発言を確認する。見通しをもって授業に取り組ませる。 ②話合いや発表などで自分の考えを、筋道立てて言語化しまとめさせる。	【評価】

技術	①工具を安全に扱う 基礎的な知識・技能の定着。	①簡単な作品の製作や実際の作品の製作に入る前の練習の機会を確保し、 工具を安全に取り扱う知識、技能の習得を行わせる。	【評価】
家庭	①生活に生かせる知識・技能の定着。	①日常生活に即した課題に取り組み、 自身の生活に活用するための具体的な方法を考えさせる。	【評価】
保体	①授業のユニバーサルデザイン化を推進する。 ②体力の向上	①単元に応じて、掲示やワークシート、 ルールや設備など、生徒が学びやすい環境づくりを意識した授業を展開する。 ②筋力と全身持久力の向上に重点を置く。 巧緻性等においては、各単元への取り組みを通して育てていく。	【評価】
英語	①基礎的・基本的な技能の習得を図る。 ②基礎的・基本的な技能を活用し、表現をする力の育成を図る。	①新出単語・新出文法を、ワーク等を活用し、 繰り返し練習をする。 ②既習の単語や文法を用いて発表や報告をする機会を設定する。	【評価】